

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



GSC022-10

会場:301A

時間:5月23日 11:00-11:15

学術研究から地学普及活動への橋渡し

Some problems from the scientific researches toward an educational promotion

高橋 雅紀^{1*}

Masaki Takahashi^{1*}

¹ 産業技術総合研究所 地質情報研究部門

¹National Institute of Advanced Industria

学術研究においては、課題そのものの難しさとは別に、関連分野や一般市民への理解と普及においても様々な困難が指摘されている。自然科学に関しても同様の問題が議論されている原因は、細分化された専門分野の羅列状況がますます総括的テーマを埋没させ、その結果、高度な専門性が自然の醍醐味を一般市民に伝える際の足枷になってしまっているからであろう。例えば、ここ連合大会においても、多種多様な研究者集団が集っているながら、研究分野の融合とはほど遠い状況が続いている。同じ空間に他分野の研究者を集めたとしても、使用している言語(専門用語だけでなく概念や思想)が異なるので、そもそも会話が成立しない。分野間融合は個人レベルで始めるしかなく、そのためには相手の言語を覚えるか、相手が理解できる言葉を用いるしかない。自然科学の普及活動に関しては後者が必須となるが、具体的な行為においては研究活動そのものとは別個の能力が必要であると思う。専門性は研究者にとって居心地がよいが、科学そのものにとってはハンディキャップと言えよう。演者が常々感じ模索している試行錯誤を紹介し、アドバイスを頂きたい。

キーワード: アウトリーチ, 地球科学, 地質学, 普及教育

Keywords: outreach, earth science, geology, educational promotion